

特定非営利活動法人 野生動物救護の会 会報



RUNNER

Vol.40



*
目
次
*

活動の現場 … 2

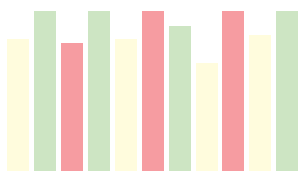
～ On your side ～

人間だけのものではない地球… 6

2023年度事業報告・

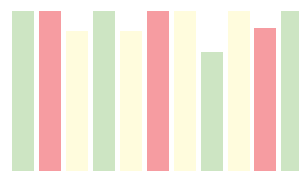
2024年度事業予定(案) …… 8

インフォメーション … 12



活動の現場

このコーナーでは普及啓発活動やイベントなどに参加したボランティアがその体験をもとにレポートしています。



特定非営利活動法人 野生動物救護の会 第16回定期総会の報告

今年度の総会が2023年6月25日13時30分より、自然環境保全センター レクチャールームにて開催されました。議長に会員の三輪さんが選出され総会が進行されました。出席者と委任状の方を合わせて会員総数の59名より過半数となり総会は成立しました。

議事に入り、2022年度の決算報告及び会計監査の報告、2022年度の事業報告、それに2023年度の事業予定、2023年度の活動予算が提案され、最後に役員改正では理事長に渡辺優子さん、副理事に安井啓子さん、平沼亜矢子さん、会計監査に神崎さつきさんが満場一致で承認されました。

H

動物フェスティバルよこすか2023の報告

9月24日(日)、前日までの雨空とは打って変わった晴天とは言え強風吹き荒れる中、横須賀市三笠公園で開催された「動物フェスティバルよこすか2023」に出展しました。

ところが当会場、海際にあるため、風当たりも強く、テント設営にも支障

を来し、覆いのテントは張らず、骨組みだけという事態に。

そんな中、風と戦いながら絵本「にゃーちゃんの冒険」のパネル展示、動物フェスティバルだけに、愛犬家、愛猫家の入場者に、猫による野鳥の被害の実態を伝え、猫の室内飼いを提唱し、人と猫と野鳥、強いては、人間と野生動物の共存を訴えました。羊やアヒルとの触れ合いコーナー、乳牛の体重当てクイズや搾乳体験、ポニーの試乗、犬猫の里親探しなどイベントも盛沢山の会場、コロナ下で低迷していた普及啓発活動が動き出したようです。



三輪早見

動物フェスティバル神奈川2023 in あつぎの報告

10月22日土曜日に、厚木中央公園にて「動物フェスティバル神奈川2023 in あつぎ」が開催されました。2023 あつぎ環境フェアと同時開催と絶好のイベント日和で、会場は大勢の人でにぎわいました。

私たち救護の会は春に発行した絵本「にゃーちゃんの冒険」と傷ついた野生動物の写真パネルの展示を行いました。たくさんの来場者がわたしたちのブースに立ち寄ってくれました。みなさんパネルに関心をもち、わたしたちの説明に耳を傾けて下さいました。野生動物の現状を知ってもらい、わたしたちに何が出来るかを考えてもらえるきっかけになればいいなと思いました。

H



表彰されました

10月22日土曜日、「動物フェスティバル神奈川2023 in あつぎ」でわたしたち救護の会が神奈川県動物愛護協会賞を受賞しました。

年間300羽ほど保護される野鳥の救護原因は交通事故、建造物への衝突などがあります。特に、猫により傷つく野鳥の被害が常に1割ほどで推移し、猫の爪により傷ついた野鳥の死亡率は非常に高く、国内には野外の猫を全て排除するという強硬な意見も聞かれます。野生動物救護の会では「野鳥とネコのしあわせ」を根底に「遺棄の防止、室内飼い、不妊去勢手術を施し地域猫として管理すること」を推奨し穏やかに野外の猫を減らす広報をHPや絵本などで行っていることが受賞理由です。

このような賞をいただき、うれしい気持ちとこれからもしっかりと活動しなければという強い気持ちを改めて持ちました。

H



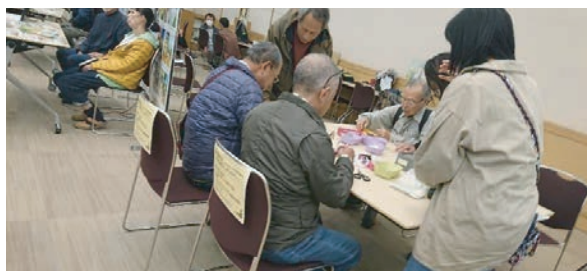
もりみず市民交流会の報告

10月29日(日)みなとみらい、パシフィコ横浜会議センターにて第52回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラムが開催されました。これは県民が納めている「水源環境保全税」の取組を紹介や、県民と協働して取組を進めていくためのフォーラムです。

このフォーラムでは講演会のほか、会場の一部で写真展、パネル展示、市民活動団体によるブース出展がありました。私たち野生動物救護の会もブースにて会の活動や「にゃーちゃんの冒険」のパネル展示、羽根しおりの体験教室を行いました。屋外の公園で行われるファミリー層の多いイベントとは違い、講演会の参加者は大人の方でしたので普段は参加しにくいと思う大人の方も羽根しおり体験も参加しやすかったのではないかと思います。皆さん、“自分にもできるかな？”と言いながら楽しそうに作成していらっしゃいました。また、このフォーラムは水源がテーマですので、わたしたちの救護の会のような野生動物がテーマでの展示があるとは思わなかったという声も。

会場のみなとみらい周辺の様子は都市部にいると、遠い別世界のように感じることもありますが、森も水もそして野生動物も、、、その水を使用している私たちと密接に関係していることを特に都市部の方たちに知って感じて頂く機会になったら良いと感じました。

森 紀美子



第44回秦野市 市民の日の報告

2023年11月3日(金) 秦野市カルチャーパーク及び周辺会場にて「ネコにより傷つく野鳥たち」をメインテーマに当会の普及啓発活動を行いました。

朝からとても良く晴れ気温も高かったためか、とても大勢の方々の来場がありました。絵本「にゃーちゃんの冒険」のパネルや野生動物の痕跡調査の結果、傷病鳥獣の写真など多くの方々の目に留まったと思います。また、羽根しおりや平沼さんの素敵な絵葉書に目を止める方も多く、身近にこれだけの野生動物たちが暮らしていることに興味を示す方たちもいらっしゃいました。

様々な野生動物たちのニュースが飛び交う中ですが、これから先も野生動物たちとどうすればより良い関係を保てるか考えるきっかけの一つになっていければと考える時間になりました。

渡辺



秦野市立堀川小学校エコスクールの報告

令和6年1月12日に野生動物救護の会メンバーによるエコスクールを小学校の理科室をお借りして行いました。今回は、堀川小学校4年1組29名の生徒さんたちと野生動物について勉強しました。最初に生徒のみんなが知っている動物の名前をあげてもらいました。みんな積極的に手をあげて、たくさんの動物の名前を答えてくれました。それからみんなで動物たちを「日本の野生動物」、「外来種」、「ペット・家畜」、「動物園の動物」に分けて、講師役のTさんとYさんが生物の多様性を守ることが大切だという説明をしました。

次にモニターに野生動物の動画を映して、それぞれの野生動物の特徴や独特な行動について講師役のEさんが説明をしました。動物の名前を聞かれると複数の生徒さんが正しい答えを返してくれました。はじめて見る動物たちの行動にびっくりしている子たちもいました。

次に絵本「にゃーちゃんの冒険」を講師役Sさんが朗読しました。生徒のみんなは、静かに聞いていましたが、スズメや母ネコが死んでしまうシーンでは、思わず声をあげてしまう子たちもいました。

次に野生動物のおかれている現状について講師役Wさんから説明してもらいました。野生動物がどのような原因で怪我や病気になるのか、野生動物を事故や病気から守るにはどんなことをしたら良いのか、詳しい説明を聞いて生徒のみんなはメモをたくさんとっていました。

それから生徒さんたちは4つのグループに分かれて「羽根標本」、「フクロウのウィズリーくん」、「骨格標本」、「哺乳類の剥製」についてグループごとに説明をうけました。生徒のみんなは、どの説明も熱心に聞いていましたが、やっぱりウィズリーくんが一番人気でした。

最後に今日のまとめとして講師役Kさんから傷ついたり、病気になったりして弱っている野生動物を見つけた時どうすれば良いのかお話ししてもらってエコスクールを終えました。堀川小学校4年1組のみんなは、野生動物についてたくさんの事柄を勉強してくれました。

遠藤順一



★昨年から今年の春にかけて、たくさんの学校からエコスクールの依頼を受けお話をさせていただきましたが今回は紙面の都合上、堀川小学校のみ掲載しました。他の学校の様子はNPO法人野生動物救護の会のHP (<http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>) からご覧になれます。

冬の野鳥観察会の報告

「野生動物救護の会」の「冬の野鳥観察会」が1月28日(日)、自然環境保全センター(自然観察園)とその周辺((リハビリセンターの池)で行われた。この時期はシベリアなどの寒い国から飛来する冬鳥が見られ、冬鳥の野鳥観察にはベストシーズンです。

朝9時30分に自然環境保全センター本館前に集合して、参加者は11名(会員3、一般8)で、講師(坂本(堅五氏(元(公財)(日本鳥類保護連盟(調査室長))の案内で観察会は開始した。この観察会のコースには林や藪、小川・沼や池などがあり、それぞれ違った生息場所の野鳥が短時間で観察できる合理的なコースです。

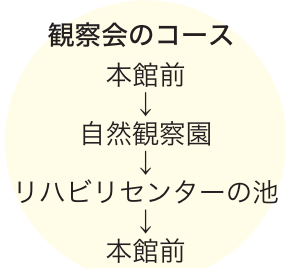
はじめに、講師から野鳥の見分け方・双眼鏡の使い方を学び、その後、コースに出て、散策しながら、みんなで鳥を探し、見つけた鳥を双眼鏡を使って観察し、本館前に戻って最後に、みんなで見た鳥の「鳥合わせ」をおこなった。観察会は12時30分に無事に終了した。

この日は曇りだったが、冬は木々に葉がなく野鳥を見つけやすいうえ、鳥をみんなで探して見たので、30種とたくさんの野鳥を見ることが出来た。そのうち冬鳥は10種も見ることが出来た上、目当てのルリビタキとトラツグミをまぢかで見ることが出来た。また、野鳥には「山野の鳥」と「水辺の鳥」がいるが、今回の観察会ではその両方の鳥を見ることができた。見た鳥については講師がその鳥の名前や特徴などをその場で一部写真を使って教えてくれたので、野鳥について学ぶこともできる初心向けの野鳥観察会でもあったが、参加者に子どもがいなかったのが残念であった。

小野

観察できた鳥
(30種)

アオジ、イカル、ウグイス、エナガ、カシラダカ、カワラヒワ、ガビチョウ、カルガモ、キセキレイ、コガモ、コゲラ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、ツグミ、トビ、トラツグミ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、マガモ、メジロ、モズ、ヤマガラ、リュキュウサンショウクイ（留鳥）、ルリビタキ
★下線のある鳥は冬鳥



自然発見クラブ「身近な野鳥のための巣箱づくり」の報告

今年も2月17日に、神奈川県自然環境保全センター・レクチャールームで自然発見クラブ「身近な野鳥のための巣箱づくり」を開催しました。当日の参加者は大人と子供合わせて14名、運営スタッフは理事長、副理事長、事務局長ほか会員1名でした。

最初に、人間の身近に生息している樹洞繁殖性の野鳥にとって、子孫を残すために樹洞の代わりとなる巣箱が重要であることを、スライドを使って簡単に説明しました。その後、全員で巣箱を作成しました。釘と金づちを持って真剣な表情で巣箱を組み立てて、絵の具やマジックペンを使って絵を描いたり、色を塗ったりして楽しんでもらえたようです。

最後に巣立ヒナの誤認保護に関するお話をしました。参加者全員が熱心に話を聞いてくれました。今回の巣箱づくりをきっかけに、野鳥や自然環境の保護活動に興味をもって参加してくれる人が増えていくことを願っています。

遠藤順一





～ On your side ～

人間だけのものではない地球

ボランティア歴 22 年目の伊熊さんがボランティア活動をしなが

日々思うことを文章にしてみました。



新型コロナ、ウクライナ侵攻など世界的に気が滅入っているこの数年ですが読者の皆様はお元気でいらっしゃいますか。コロナが5類になった事でかなり日常生活範囲が広がり世界に自由が戻って来ました。日本もこの辛い時期を本当に良く堪えたと思います。他国に比べてかなり感染率が低かったのは一重に真面目で誠実で勤勉で謙虚な民度を持ち合わせていたからです。私自身、医療従事者の1人としてそんな日本に生まれて良かったと心から思いますしお互いに感謝をし讃えあう価値があると考えます。これからはばらくの間、少し我儘にそれぞれの時間を大切にしたいのではないのでしょうか。

皆様が楽しく、明るく伸びやかに日々を送っておられる事を心から願います。

自分は仕事柄リモートワークが成り立たないためコロナ禍でも普通に仕事場に出勤していた中で常に気になっていたのはやはり環境や動物たちの事だった。どんな時も常に後回しにされる環境や彼らを思うとどういった扱いを受けているのかとても心配だった。

牛や豚、鶏も命がある。海産物を扱ったり森林の管理を担う第一次産業に従事する沢山の方々がいたからこそ私たちの生活が成り立っている。毎年メディアの報道で鳥インフルの感染が始まりいつも万単位の鶏を問答無用で殺処分するという恒例行事の様になっている事についても本当に胸が痛い。何か対策がないものだろうかとずっと考えていた。

処分にあたる人たちは無感情にそれを遂行しているのではないのだと神奈川県職員に聞



いた事がある。卵を産み、自身は食卓の糧や栄養となり食生活を豊かにしてくれているコッコたち。そんな彼らを好き好んで義務的に行う人などいない、だろう、と思う。思いたい。

この季節、そのニュースが飛び込んで来る度に悲しさが込み上げ憤りさえ感じるのだがではどうすれば良いのか。解決法はあるのだろうか。

10月末から半月ほど北海道に行っており、環境省からの委託を受けている野生動物保護センターを訪れた時に対応して下さった獣医師の方の話をしよう。

そのセンターでは絶滅危惧種を中心に希少な猛禽類を保護し治療やリハビリを行い野生に戻しているのだが、そんな彼らを守るため冬に蔓延する鳥インフルとどう奮闘しているのか色々な角度から質問してみた。

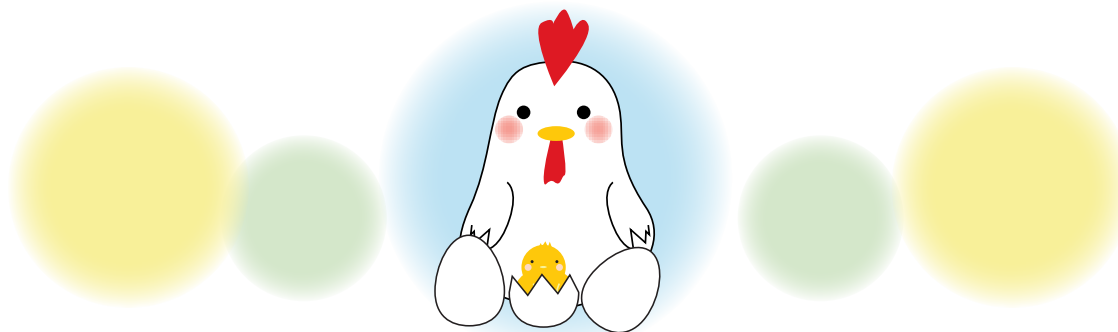
希少種である彼らを助けるためインフルエンザのワクチンの使用を始めている、だが固体の差が大きく不明な点多々ありデータを揃えるのが難しい。というのもいつから具合が悪くなり始めたのか、その子が今何歳なのか詳細がわからない。また鶏の様な家禽についてもワクチンそのものが不足しており、餌に混ぜたとしても効果については不透明な部分が大いとい。なのでそれは知識や経験の記憶を総動員して推測しつつ治療を始めてみるしかないという状態であるという話だった。何とかしたいが現時点ではどうにもならないとの事なのだろう。確かなデータの集積と分析により実用化が実現するのはいつになるのだろうか。

確かに産業動物たちは必ず人間の手で生命を終える定めにあるのだが、先述した通りその命は決してムダになっていい訳はない。動物だって悲しみや喜び、そして恐怖だって持ち合わせている。だからこそその命に敬意を払い感謝をしなければならないし大切に消費をする事を心がけるべきではないだろうか。

冬は鳥インフルによる殺処分ニュースが入って来る季節だが叶うならばゼロ、あっても最小限である様にと祈る。そして地球温暖化の危機も叫ばれて久しい。暑い中でも産卵してくれるコッコたち。基本的に温暖化の責任は動物たちには無いのだ。それについては次号で述べる事にしたいと思う。

ずっと掲げて来た、動物たちの立場になってというテーマ。

日常に戻った今もやはり～On your side～人間だけのものではない地球、を軸とし、稚拙な文で申し訳ないが可能な限りこれからもランナーに掲載させて頂きながら直ぐにでもやらねばならない事は何なのかを考え、自分自身に問いながら行動をしようと思う。身体が動く限り。



2023 年度事業報告 2024 年度事業予定(案)

2024 年度も 4 月よりスタートしております。今年はいよいよコロナウイルスによる制限から本格的に解放され明るい一年が始まると思いきや、国内外で大きな地震災害が相次ぎ、不幸な飛行機事故なども発生しました。世界では各地で悲しい紛争が続き終結の兆しも見えない状況です。2024 年は残念ながらこのような重苦しい雰囲気の前半となってしまいました。各地で被害に遭われた方々、今現在も辛い状況下に置かれている方々に心よりお見舞い申し上げます。

幸いにも救護の会が拠点にしている地域では災害なども無く通常の生活ができる状況です。日常生活を送りながら NPO としての活動を

続けられることに感謝して本年度も躍動してまいります。

本年度も、長年継続して行ってきた衝突調査、痕跡調査や樹洞性哺乳類・鳥類調査などの調査活動はもちろん、各種イベントへの参加や体験教室・探鳥会の開催など、多岐にわたる活動を予定しています。会員の皆様には都度お知らせいたしますので、その際には是非ご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

6 月に予定されている定期総会では、昨年度の総括や今年度の事業内容についてご意見をいただきたく、ここに前年度の活動報告と今年度の活動予定を掲載します。皆さまには是非目を通していただき、ご検討をお願い致します。

2023 年度 NPO 法人野生動物救護の会 事業報告

1. 傷病鳥獣救護の直接的事業

傷病鳥獣の救護ボランティアの推奨	通年	自然環境保全センター
M プロジェクト (猛禽類のリハビリ)	通年	プロジェクト参加者自宅

2. 救護ボランティアを養成する事業

野生動物救護ボランティア講習会	中止	自然環境保全センター
野生動物救護ボランティア講習会修了式	中止	自然環境保全センター

3. 主に会員を対象とした啓発事業

探鳥会	1 月 28 日	近隣各所
野生動物痕跡調査講習会	中止	自然環境保全センター

4. 主に市民を対象とした啓発事業

ブナの森ギャラリー企画展示 「にゃーちゃんの冒険」ネコによる野鳥への被害防止	4 月～6 月	自然環境保全センター
よこすか動物フェスティバルへの参加	9 月 24 日	三笠公園
秦野市民の日への参加	11 月 3 日	はだのカルチャーパーク
動物フェスティバルかながわへの参加	10 月 22 日	厚木中央公園
さがみ自然フォーラムへの参加	2 月 8～12 日	アミューあつぎ
もりみず交流会への参加	10 月 29 日	パシフィコ横浜
2023 年度丹沢自然再生生活動報告会への参加	1 月 21 日	横浜情報文化センター

環境教育 はだのエコスクール	6月27日、9月12日、 10月4日、20日、27日 1月12日	本町小学校、北幼稚園、 南小学校、山辺保育園、若木保 育園、堀川小学校
-------------------	--	---

5. 情報発信的事業

会報誌RUNNERの発行	5月27日	
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局

6. 調査・観察的な事業

秦野市立図書館衝突調査	4月28日、5月26日、 6月30日、8月25日、 9月29日、10月27日、 12月1日、1月19日、 2月16日、3月29日	秦野市立図書館
羽根標本等の標本作成	年数回	自然環境保全センター
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター
野生動物痕跡調査	通年	自然環境保全センター
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター

7. 関係団体との協働的事业

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	書面開催	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク講演会	10月21日	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会	年数回	自然環境保全センター
傷病鳥獣保護連絡協議会	2月20日	
自然発見クラブ 野鳥の巣箱づくり	2月17日	自然環境保全センター

8. 運営的事业

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	6月25日	自然環境保全センター
救護の会の事務的管理（名簿・会費・物品など）	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター

9. 各種助成金による事業

丹沢大山自然再生委員会調査・研究助成金		自然環境保全センター
みどりを育む集い助成金		自然環境保全センター

2024 年度 NPO 法人野生動物救護の会 事業予定(案)

1. 傷病鳥獣救護の直接的事業

傷病鳥獣の救護ボランティアの推奨	通年	自然環境保全センター
Mプロジェクト（猛禽類のリハビリ）	通年	プロジェクト参加者自宅

2. 救護ボランティアを養成する事業

野生動物救護ボランティア講習会	検討中	自然環境保全センター
野生動物救護ボランティア講習会修了式	検討中	自然環境保全センター

3. 主に会員を対象とした啓発事業

探鳥会	年数回予定	近隣各所
野生動物痕跡調査講習会	年数回予定	自然環境保全センター

4. 主に市民を対象とした啓発事業

ブナの森ギャラリー企画展示「羽根標本」	4～6月	自然環境保全センター
よこすか動物フェスティバルへの参加	予定	足柄市役所
秦野市民の日への参加	11月3日予定	
動物フェスティバルかながわへの参加	10月予定	
さがみ自然フォーラムへの参加	2月予定	
環境教育 はだのエコスクール	要請があれば実施	秦野市内の学校等

5. 情報発信的事业

会報誌RUNNERの発行	年数回	
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局

6. 調査・観察的な事業

秦野市立図書館衝突調査	月1回程度	秦野市立図書館
羽根標本等の標本作成	年数回	自然環境保全センター
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター
野生動物痕跡調査	通年	自然環境保全センター
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター
秦野市 ・野生動物センサーカメラ調査 ・小鳥用・ムササビ用巣箱センサーカメラ調査	通年	柳川生き物の里 養毛自然観察の森
水質調査	予定	犬越路隧道水場

7. 関係団体との協働的事業

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	予定	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク講演会	予定	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会	年数回	自然環境保全センター
傷病鳥獣保護連絡協議会	予定	
自然発見クラブ 野鳥の巣箱づくり	予定	自然環境保全センター

8. 運営的事業

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	予定	自然環境保全センター
救護の会の事務的管理（名簿・会費・物品など）	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター

10. 各種助成金による事業

丹沢大山自然再生委員会調査・研究助成金		自然環境保全センター
みどりを育む集い助成金		自然環境保全センター



2024 年度も
よろしく申し上げます！

インフォメーション

定期総会

◆第17回 NPO 法人 野生動物救護の会 定期総会

▽日時: 6月23日(日) 13:00~受付 13:20~総会

▽場所: 神奈川県自然環境保全センターレクチャールーム

イベント・企画展示

◆ブナの森展示

▽日時: 4月~6月

▽場所: 自然環境保全センター2階ブナの森ギャラリー

テーマ: 「羽根標本」ツバメ、カワセミ、オオタカなど16種の詳細な羽根標本をまぢかに見ることができます。

☆野生動物救護の会「羽根標本チーム」では一緒に作成して下さる仲間も随時募集しております。興味ある方、一度だけ試しに、と言う方、どなたでもご参加ください。

詳しくはメールで事務局までお問い合わせください。

◆動物フェスティバル

▽日時: 10月予定

▽場所: 足柄市役所

衝突調査

◆秦野市立図書館衝突調査

▽日時 毎月最終金曜日

→今後の調査日は2024年5月31日、6月28日、7月26日、8月30日、9月27日

▽場所 秦野市立図書館

☆野生動物救護の会「バードストライク研究会」では窓ガラスへの野鳥の衝突調査を一緒に行ってくれる方を随時募集しています。興味のある方は事務局までご連絡を!

“救護の会 ブログ” 始まっています!

◆野生動物救護の会の活動の様子を楽しくご紹介!

日常のボランティア活動や、猛禽類の訓練風景(M project)、各種イベントのお知らせや報告などなど、随時更新しています。救護の会 HPトップページの「救護の会ブログ始めました!」のバナーをクリックしてご覧下さい♪

アドレスはコチラ→ <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/index.html>



* 詳細は当会ホームページをご覧ください *

☆☆会員へのお誘い☆☆

当会は、設立趣旨にご賛同頂きました皆様方の会費によって運営されております。

どなたでもご参加いただけます ★一般会員: 年会費 2,000 円

★学生会員: 年会費 1,000 円

私たちの活動を支えて下さる賛助会員も同時に募集しています

★賛助会員: 年会費 法人一口 5,000 円/個人一口 3,000 円 一口以上

【振込先】

ゆうちょ銀行振替口座 : 00270-0-47040

名義 : 特定非営利活動法人 野生動物救護の会

発行月: 2024年5月 発行: 特定非営利活動法人 野生動物救護の会 電話: 0463-75-1830

〒259-1306 神奈川県秦野市戸川 1086 番地の 4 ホームページ: <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>

編集者 平沼亜矢子 神崎さつき 森紀美子